

小規模企業の景況

(令和3年4～6月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)令和3年4～6月期の結果概要は以下の通り。今期(令和3年4～6月期、調査基準日:6月1日)の業況DI値は▲35.4、前回調査から12.9ポイント改善となり、リーマン・ショックの回復期である平成22年4～6月期に次ぐ上げ幅となった。業種別では、卸売業が小幅ながら悪化したものの、製造業・小売業・サービス業が改善、中小企業の業況は持ち直しの動きが見られる。

売上額DI値は▲23.5、前回調査から28.9ポイント改善した。これは平成22年4～6月期を上回る上げ幅であり、4期連続の改善となった。

従業員過不足DI値は▲5.6(前回調査から▲0.1)となった。

1. 今期(令和3年4～6月期)の状況

【売上額】今期(令和3年4～6月期)の売上額DI値(全産業)は、前回調査(令和3年1～3月期)の(▲52.4)から28.9ポイント改善し、▲23.5となった。業種別では前回調査から、製造業が33.7ポイント、卸売業が22.7ポイント、小売業が43.6ポイント、サービス業が17.8ポイントそれぞれ改善した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI値(全産業)は、前回調査(▲26.0)から4.9ポイント改善し、▲21.1となった。業種別では前回調査から、製造業が2.1ポイント、卸売業が6.8ポイント、小売業が10.2ポイント、サービス業が2.1ポイントそれぞれ改善した。

【業況】今期の業況DI値(全産業)は、前回調査(▲48.3)から12.9ポイント改善し、▲35.4となった。業種別では前回調査から、製造業が14.8ポイント、小売業が34.4ポイント、サービス業が5.6ポイントそれぞれ改善し、卸売業は2.1ポイント悪化した。

【従業員】今期の従業員DI値(全産業)は、前回調査(▲5.5)から0.1ポイント悪化し、▲5.6となった。業種別では前回調査から、製造業が5.5ポイント、卸売業が1.6ポイント悪化し、小売業が3.0ポイント、サービス業が3.5ポイント改善した。

2. 来期(令和3年7～9月期)の予想

来期(令和3年7～9月期)の全産業の予想DI値は、売上額▲23.9、資金繰り▲16.5、業況▲25.3となった。

3. 経営上の問題点

製造業・卸売業・小売業の3業種で「需要の停滞」が第1位となり、サービス業では、コロナ禍での海外需要の減少や休業などを理由として、「その他」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(令和2年4月～6月期)と比較して売上額、業況、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

【調査の概要】

- ・調査名：第164回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
 - ・調査時期：令和3年5月21日～6月1日（前回：令和3年2月19日～3月1日）
 - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国7,954件中、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）284件について取りまとめた。
- 〔製造業74件、卸売業63件、小売業65件、サービス業82件〕

■DI値推移（全産業）

	161回調査	162回調査	163回調査 (前回)		164回調査 (今回)	
	R2(2020年) 7～9月期	R2(2020年) 10～12月期	R3(2021年) 1～3月期	R3(2021年) 4～6月期	R3(2021年) 4～6月期	R3(2021年) 7～9月期
売上額（増-減）	-65.5	-53.8	-52.4	-15.8	-23.5	-23.9
資金繰り（好-悪）	-29.3	-23.3	-26.0	-21.6	-21.1	-16.5
業況（好-悪）	-62.4	-47.3	-48.3	-17.1	-35.4	-25.3
従業員（過-不）	-3.4	-7.2	-5.5		-5.6	

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	需要の停滞 →	27 (35)	需要の停滞 →	31 (32)	需要の停滞 →	12 (12)	その他（コロナによる来客の減少等） ↑	19 (14)
2位	原材料価格の上昇 →	10 (6)	仕入単価の上昇 →	6 (5)	その他（新型コロナウイルスによる消費の冷え込み等） →	11 (10)	需要の停滞 ↓	17 (21)
3位	従業員の確保難 ↑	7 (3)	メーカーの進出による競争の激化 ↑	5 (2)	大型店・中型店の進出による競争の激化 ↑	8 (3)	利用者ニーズの変化への対応 ↓	7 (15)

■経営上の問題点

[注]（ ）内は前回（令和3年1～3月期）調査結果

↑ = 前回より高順位

→ = 前回と同順位

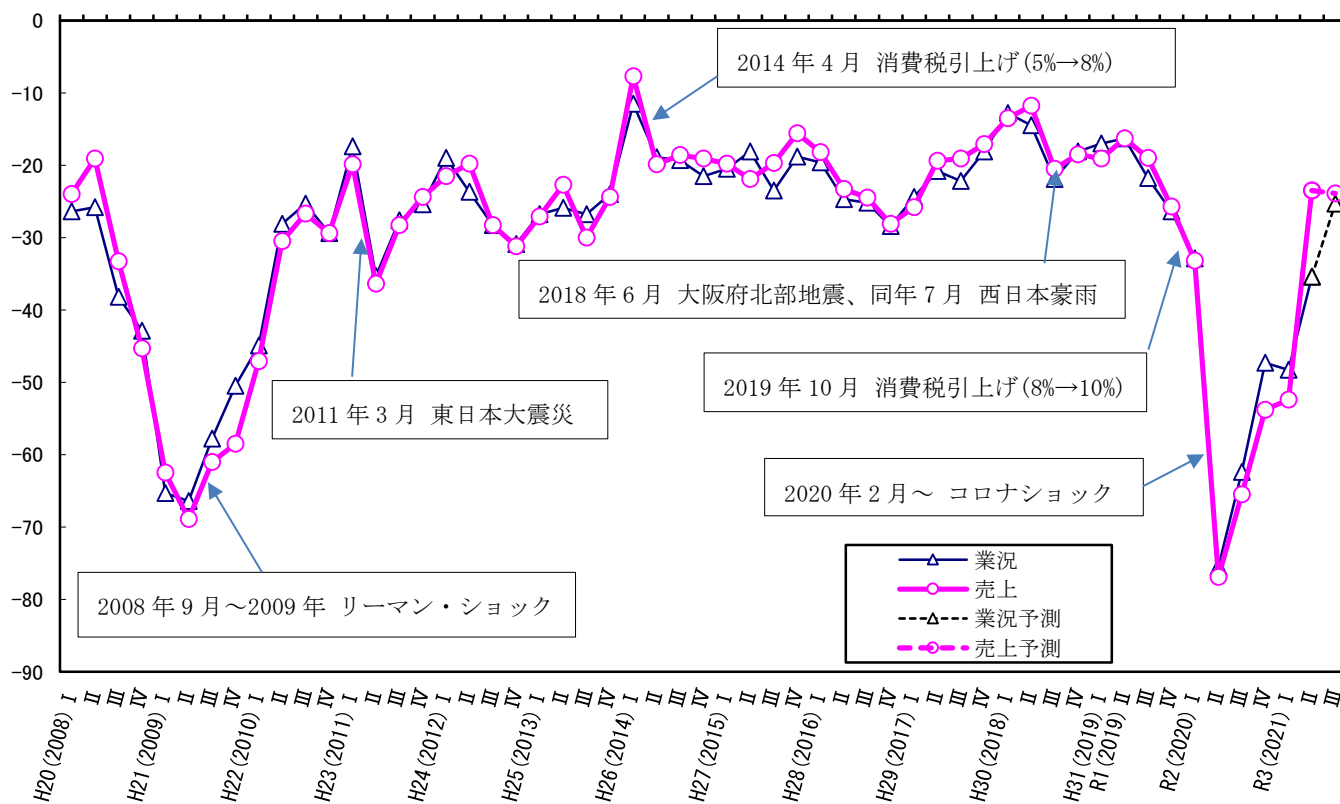
↓ = 前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(4~6月期)				前回(1~3月期)からの推移	来期の予想(7~9月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	25.7	27.0	47.3	▲ 21.6	33.7	20.3	37.8	41.9	▲ 21.6
	卸売業	23.4	26.6	50.0	▲ 26.6	22.7	15.6	42.2	42.2	▲ 26.6
	小売業	21.5	33.8	44.6	▲ 23.1	43.6	18.5	35.4	46.2	▲ 27.7
	サービス業	23.2	30.5	46.3	▲ 23.2	17.8	15.9	46.3	36.6	▲ 20.7
	合計	23.5	29.5	47.0	▲ 23.5	28.9	17.5	40.7	41.4	▲ 23.9
前回	13.4	20.9	65.8	▲ 52.4		24.7	34.6	40.4	▲ 15.8	
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	13.5	51.4	35.1	▲ 21.6	2.1	13.5	64.9	21.6	▲ 8.1
	卸売業	10.9	64.1	25.0	▲ 14.1	6.8	9.4	68.8	21.9	▲ 12.5
	小売業	6.2	58.5	32.3	▲ 26.2	10.2	12.3	47.7	36.9	▲ 24.6
	サービス業	6.1	63.4	28.0	▲ 22.0	2.1	7.3	62.2	28.0	▲ 20.7
	合計	9.1	59.3	30.2	▲ 21.1	4.9	10.5	61.1	27.0	▲ 16.5
前回	8.2	56.5	34.2	▲ 26.0		9.2	58.6	30.8	▲ 21.6	
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	16.2	31.1	52.7	▲ 36.5	14.8	12.2	43.2	39.2	▲ 27.0
	卸売業	10.9	29.7	59.4	▲ 48.4	▲ 2.1	12.5	42.2	39.1	▲ 26.6
	小売業	12.3	43.1	41.5	▲ 29.2	34.4	9.2	47.7	35.4	▲ 26.2
	サービス業	17.1	35.4	46.3	▲ 29.3	5.6	12.2	52.4	34.1	▲ 22.0
	合計	14.4	34.7	49.8	▲ 35.4	12.9	11.6	46.7	36.8	▲ 25.3
前回	11.0	29.8	59.2	▲ 48.3		20.9	38.7	38.0	▲ 17.1	
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	9.5	71.6	16.2	▲ 6.8	▲ 5.5				
	卸売業	7.8	78.1	9.4	▲ 1.6	▲ 1.6				
	小売業	3.1	73.8	3.1	0.0	3.0				
	サービス業	2.4	76.8	14.6	▲ 12.2	3.5				
	合計	5.6	75.1	11.2	▲ 5.6	▲ 0.1				
前回	7.5	72.9	13.0	▲ 5.5						

「今期の状況（除従業員）」は令和3年4~6月期状況であり、前年同期の令和2年4~6月期との比較。来期の予想は令和3年7~9月期予想であり、令和2年7~9月期との比較である。「前回」欄は令和3年1~3月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値=D I（増加・好転-減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※令和3年III予想値